

## 「中佐都の宝（中佐都郷土館）」シリーズ No. 1

### 赤く彩色された人面付土器（弥生時代）

出土地不詳の人面付土器でしたが、平成 16 年～18 年の中部横断自動車道建設に伴う平塚地籍からの人形土器（参考写真）の発見により、中佐都郷土館所蔵の人面付土器も平塚出土の可能性が高まっています。ウラ面の粘土の成形の状況から、首の部分は壺状の器の存在が想定されることを浅間縄文ミュージアムの学芸員である堤隆さんに教えていただきました。

（文献掲載「佐久考古通信」2012. 6. 17 「中佐都村志」昭和 31 年 12 月 1 日）

ウラ面は、土器の生地の色がよくわかります。  
顔面の部分は器の縁に粘土を接合した跡が見えます。



側面からの人面です。  
赤い彩色がよくわかります。



#### 参考写真

長野県埋蔵文化財センター  
西一里塚遺跡群出土の人形土器

